

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

令和6年2月7日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企業・団体名	船田海運株式会社
所在地	〒737-0154 広島県呉市仁方棧橋通 13-7
代表者役職・氏名	代表取締役社長 船田洋行
担当者連絡先	電話：0823-79-0005
	メール：koki.funada@funadakaiun.com
ウェブサイトURL	会社案内に記載


















2. 港湾関係企業等としての事業の概要

<p>船田海運は、1959年 瀬戸内海の小さな島、広島県の下蒲刈島で内航海運業として創業しました。1990年に外航海運業に進出し、現在、内航船1隻の船舶管理業・船員配乗業と外航船 約10隻を保有し、船舶貸渡業を行っています。海上物流の一翼を担う「船主」として、良質な海上運輸のサービスを目指し、日々、船舶の保全管理・法令順守・安全運航に努めています。また、創業の地である下蒲刈島の地域活性化に貢献したいという思いから、地元人材の積極採用や、地域の様々な活動にも積極的に参加しています。</p>

3側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標
□環境 ✓社会 ✓経済	地方創生	<ul style="list-style-type: none">・下蒲刈島での清掃活動や地域での祭り・行事への参加などの地域活性化・船用品を含め地域資源の積極的な購買を促進・地元人材の積極的な採用を継続
✓環境 ✓社会 □経済	環境規制への適用	<ul style="list-style-type: none">・CO2 排出量の削減に配慮した船舶整備と船舶運航・NOx/Sox 規制などへの適切な対応・新燃料使用の検討、促進
□環境 ✓社会 ✓経済	きめ細かい船員育成と社員の職場環境整備	<ul style="list-style-type: none">・定期的なフィリピン訪問による現地船員との相互理解・適切な能力開発、教育訓練の機会の提供を通じた人材育成強化（社内外の研修、セミナーへの参加）・ハラスメントや過度な長時間労働防止のための体制整備

SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	【差別的禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	産育休の規定を制定 雇用、教育、昇進・昇格、福利厚生などあらゆる雇用条件で差別しない体制を構築					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	ハラスメント防止規程・対応マニュアルを制定し、職場における健全な秩序ならびに協力関係を構築					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	過度な長時間労働の防止に取り組むため専用のアプリを使った労務管理の実施								8.5 8.8									
4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	外国人船員に対する差別・人権侵害はない 定期的にフィリピンに訪問し、船員とのクリスマスパーティ・懇親によりお互いの理解を深めている				4.4				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							
5	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	きめ細かい船員教育の実施による安全な会場運航の実現に向け、定期的な訪船と密な情報共有を実施			3					8									
6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる				3														
7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	多様な人材が活躍できるよう適切な職場への人員配置					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	適切な能力開発、教育訓練の機会の提供を通じた人材育成強化(社内外の研修、セミナーへの参加)			4	5.5				8	9								
9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	船員に関し、職位毎に定めた賃金の順守、格差の是正					5.5			8.5		10.2 10.3							
10	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	定期健診の実施、健康状態の把握			3					8									
11	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R(リデュース、リユース、リサイクル)の推進に取り組んでいる	ごみの分別、リサイクルを実施 電子媒体記録による紙資源のリデュース 裏紙の利用などによるリユース											11.6 12.4 12.5		14.1				
12	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	クールビズ、節電取組の実施							7.3					13					
13	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている								7.2 7.3				12.4 13.3						


カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
30	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	緊急連絡体制の設定																16	
31	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している (※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	金融機関、造船所、海運会社との定期的な面談を実施し、各社の要望・要請に向け適切に対応を実施。																16 17	
32	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している																	16	
33	【社会的責任】 ・CSR (Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	会社の創業地である下蒲刈島の清掃活動の参加や地元神社建て替えの寄付 ハラスメント防止規程・対応マニュアルを制定																16	
34	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	安全運航を徹底し、海難事故などによる海洋汚染を防止 海難事故発生時の事業継続計画を策定									9		11					16	
35	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	事業承継に関する検討・対策を検討している								8	9							17	

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	

【記載留意事項】

- ・各カテゴリ毎に少なくとも1つ以上の項目に「具体的な取組」を記載して下さい。
- ・列の高さは適宜修正して頂いて構いませんが、取組がない事項であっても列を削除しないでください。(空欄で結構です。)
- ・今回の申請に合わせて、今後取り組む予定のものについても「具体的な取組」として記載頂くことが可能ですので、積極的に記載して下さい。
- ・なお、今後取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載して下さい。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
- ・取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
- ・「主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目」はあくまでも標準的なゴールとターゲット番号を記載したものです。個別の取組に合わせて必要に応じて適宜変更して下さい。



船田海運株式会社

Company Profile 2023



経営理念『共生・信頼』

船田海運は、昭和34年（1959年）瀬戸内の小さな島

広島県の下蒲刈島で内航海運業として創業しました。

平成2年（1990年）に外航海運業に進出。

呉地区の6社と共に外航船事業に係るノウハウ習得の為に「喜望峰の会」を設立しました。

年に一度の「喜望峰の会」の勉強会には、東京や四国・九州の船主を始め多くの金融機関や、商社、造船所、各機器メーカーから300人を超える参加者が集まります。

多くの人に支えられ今日があります。

私共が経営理念に掲げる「共生・信頼」を胸にこれからも、さらに多くの仲間と共に、信頼される企業へ 着実に歩を進めて参ります。



会社概要

会社名	船田海運株式会社
本社	〒737-0154 広島県呉市仁方棧橋通13-7
東京事務所	〒105-0004 東京都港区新橋4-27-1 4階
設立	1967年6月1日
資本金	2,000万円
代表者	船田洋行
主な事業	海運業 船舶管理業
社員数	18名（内 船員9名）
主要取引先	株式会社商船三井 川崎汽船株式会社 JFE物流株式会社 Gearbulk



船舶明細（内航船）

● 翻運丸（30.25m×9.00m×5.8m）

- ・ 船 種 押船
- ・ 航行区域 沿海（瀬戸内海）
- ・ 総トン数 119トン
- ・ 機 関 ディーゼル（出力2,942キロワット）
- ・ 乗組員数 6名（甲板4名、機関2名）
- ・ 建造造船所 神原海洋開発株式会社
- ・ 航海区域 水島、福山⇒甲南⇒西宮
水島⇒堺⇒西宮
- ・ 竣工 1995年4月

● オペレーター JFE物流株式会社

● 積み荷 鋼材

● JFE N2（98.50×27.30m×3.80m）

- ・ 船 種 被自力航行船（バージ）
- ・ 総トン数 1,126トン
- ・ 建造造船所 神原海洋開発株式会社
- ・ 搭載設備 ランプウェイ
チルトテーブル
荷役用発電機（ヤンマー）
バウスラスター
スタンスラスター
船首尾ウインチ



所有外航船

- 1 [NAVIOS FELIX] バルクキャリア 180200 DWT 2016年竣工
- 2 [THUNDER ISLAND] バルクキャリア 82558 DWT 2021年竣工
- 3 [CORELLA ARROW] バルクキャリア 72883 DWT 2009年竣工
- 4 [CONDOR ARROW] バルクキャリア 62980 DWT 2012年竣工
- 5 [BAI CHAY BRIDGE] コンテナ船 4432 TEU 2011年竣工
- 6 [LOS ANDES BRIDGE] コンテナ船 2450 TEU 2009年竣工
- 7 [CALLAO BRIDGE] コンテナ船 2450 TEU 2010年竣工
- 8 [MOL SPARKLE] コンテナ船 2553 TEU 2009年竣工
- 9 [AMABIKO] バルクキャリア 82400 DWT 2023年竣工
- 10 [TRINITY ISLAND] バルクキャリア 82400 DWT 2023年竣工



SDG s 宣言

当社は、国連が提唱する「持続可能な開発目標（SDG s）」に賛同し、3つの柱を中心とした持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

①地方創生

②環境規制への適用

③きめ細かい船員育成と社員が働きやすい職場



SDGs 達成に向けた具体的な取組

【差別の禁止】 産育休の規定を制定 雇用、教育、昇進・昇格、福利厚生などあらゆる雇用条件で差別しない体制を構築

【ハラスメント禁止】 ハラスメント防止規程・対応マニュアルを制定し、職場における健全な秩序ならびに協力関係を構築

【ダイバーシティ経営】 多様な人材が活躍できるよう適切な職場への人員配置

【人材育成】 適切な能力開発、教育訓練の機会の提供を通じた人材育成強化（社内外の研修、セミナーへの参加）

【健康経営】 定期健診の実施、健康状態の把握

【有害化学物質】 Nox・Sox規制など船舶運航における海洋汚染や大気汚染の対応 CO2排出量の削減に配慮した船舶整備と船舶運航

【生物多様性】 バラスト水管理条約への対応による生物多様性の保全 海難事故防止への安全取組

【社会貢献活動】 会社の創業地である下蒲刈島の清掃活動の参加や地元神社建て替えの寄付

【社会課題解決】 CO2排出量の削減に配慮した船舶整備と船舶運航 ステークホルダーの環境方針に沿ったサービスの提供



皆さまのエントリーをお待ちしております。



採用窓口：船田海運株式会社 海務部

TEL：0823-79-0005 / Email：yasutomo.Kawamura@funadakaiun.com